

令和3年度 学習指導方針（スクールポリシー）

【教育目標】

- 1 社会の変化に主体的に対応できる資質や能力を身につけた創造性豊かな人間を育成する。
- 2 生徒一人ひとりの個性を最大限に伸ばさせ、生涯にわたって継続的に学習する意欲や態度を育成する。
- 3 自己の進路への自覚を深め、判断力と実践力を備えた心豊かな人間を育成する。

【学校の現状】

- 1 キャリア教育の拠点校として、生徒一人ひとりがキャリア発達を実感できる学校をめざし、そのために教員個々の指導力向上および組織的指導体制の強化が求められる。
- 2 キャリア教育を進める上で、その基盤となる基礎学力の定着、基本的な生活習慣の確立、規範意識の育成に一層努めていく必要がある。
- 3 活気と感動に満ちた学校の実現に力を注ぎ、授業の充実はもとより、学校行事、生徒会活動、部活動の活性化に取り組む必要がある。
- 4 受検者の出身学校がやや局地的な傾向にあることから、広報活動地域を広げ、より広範囲の中学校関係者に通学の利便性の良さも含め本校の特色を理解し興味関心を持ってもらえるように努めていくことが求められる。

【地域等からの要望】

行事や部活動等の活性化を通して、元気で行動力のある生徒を育て、地域貢献に意欲的に取り組む生徒を輩出することを求められている。

【本校において目指す生徒像】（育む資質・能力、身に付けたい力など含む）

- ① 挨拶や服装容儀など高い規範意識を身につけ、基本的な生活習慣が確立した生徒。
- ② 希望する進路実現のために、家庭学習を習慣化し、主体的に学習に取り組む生徒。
- ③ 豊かな感性を養い、コミュニケーション能力を高め、積極的に行動することができる生徒。

【学習指導方針（スクールポリシー）】

（1）挨拶・礼儀作法・身だしなみ・時間厳守について、時宜にかなった指導を行ない、規範意識を育む。

生徒を注意深く見守り、面接や保護者との連絡をより密に行い生徒理解を深めながら「時を守り、場を清め、礼を正す」の指導を行い、規範意識を醸成する。

（2）生徒の主体的・能動的な学びとなるよう、ICT機器の活用等を通して絶えず授業改善に努め、基礎学力の定着と学力の向上を図る。

言語活動やICT機器の活用によって思考を高める場面を増やし、生徒の興味・関心を引き出す授業の工夫・改善に努める。きめ細かな対応をしながら学習習慣を定着させて学力の向上を図る。

（3）組織的なキャリア教育と面談によりガイダンス機能を充実させ、生徒自らに能力や適性に気づき進路を実現させる。

「産業社会と人間」など総合学科ならではの科目の充実を図り、3年間を見通した進路指導計画を改良しながら、生徒個々の能力に応じた指導を行う。模擬試験や各種資格・検定試験等にも積極的に取り組み、挑戦する意欲と自信を持たせ進路実現を図る。